42. 慢性期脳梗塞患者の高次脳機能障害に対する高気圧酸素療法の効果

塚本栄治[*1)] 保正美佐子[*2)] 中野 徹[*3)]
*1)脳神経外科塚本病院脳神経外科
*2) 同 高気圧治療部
*3) 同 神経心理検査室

【はじめに】 運動障害などの症状がほぼ固定した慢性期脳梗塞患者で高次脳機能障害のために日常生活や就労能力の著しい制限のある症例がある。このような症例に対する高気圧酸素療法の効果を検討したので報告する。

【対象患者】 1991年9月から1996年5月まで当院で高気圧酸素療法（HBO）を施行した高次脳機能障害のある脳梗塞患者710例を対象とした。発症からHBOを施行するまでの期間により3群に分けた。3ヵ月以内656例，3～6ヵ月13例，6ヵ月以上41例であった。今回は，このうち，6ヵ月以上の慢性期脳梗塞症例群について検討した。

【方法】 高次脳機能は，1）MMS（Mini Mental State Examination），2）Kohs立方体テスト，3）前頭葉機能検査（浜松方式）（仮名ひろいテスト，記銘力テスト，7 series test，動物名想起テスト，会話テスト），4）三宅式記銘力テスト，5）レーブン色彩マトリックステスト，6）失行・失認・無視テスト，7）標準失語症検査で評価した。各項目ごとに，HBO治療前後の評価を比較検討した。

【結果とまとめ】 MMSEでは，治療前に23点以下であった41例中30例が改善した。また失行・失認は17例中12例，失語症は5例中3例に改善が認められた。高次脳機能障害は慢性期脳梗塞患者の日常生活や就労能力に重大な支障をもたらすが，従来の治療では改善せず，自然治癒も期待できない。我々の症例の検討結果は，HBO治療前と治療後の高次脳機能評価で明らかな改善が認められた例が多く，慢性期脳梗塞に対する高気圧酸素療法の有用性を示すものと考える。

43. クモ膜下出血後の脳血管スパズムに対する高気圧酸素治療（HBO）の治療効果について

稲垣英昭[*1)] 藤内由美[*1)] 久野木忠[*1)]
畑谷重人[*1)] 池田一美[*2)] 福田忠治[*3)]
*1)東京医科大学八王子医療センター臨床工学部
*2) 同 麻酔科
*3) 同 脳神経外科

【目的】 クモ膜下出血後に頻発する脳血管スパズムに対して高気圧酸素治療（以下HBO）を行ってきた。今回，この治療結果について報告する。

【対象】 当センターにSECHRIST社製第一種治療装置MODEL-2500Bが導入された1991年4月から1996年3月までの過去5年間に脳血管スパズムに対してHBOを行った44歳～70歳（平均年齢52.4歳）までの18症例（総治療回数92回），男性11名，女性7名を対象とした。

全症例，頭部CT及び脳血管造影により脳血管スパズムと診断された後，連日HBO（2ATA，100％O_2，60min）を1回/dayで5～7回施行した。治療評価は，Japan Coma Scale（以下JCS），Glasgow Coma Scale（以下GCS）及び徒手筋力測定法（以下MMT）にて行った。

【結果】 全18症例に対し，10症例はHBOが有効と思われた。有効症例では，すべての症例が発症してから48時間以内にHBOを開始しており，JCS, GCS, MMTに改善が認められた。又，中大脳動脈（以下MCA）領域での脳血管スパズムに有効症例が多く認められた。

無効症例では，発症してからHBOを開始するまで数日間経過している症例や，広範囲なスパズムを発症している症例が多くみられた。又，有効症例の平均年齢は47.9歳，無効症例の平均年齢は，57.8歳と無効症例の平均年齢の方が高い傾向を示した。

【結語】 脳血管スパズムに対してHBOは，症状の改善に有効であった。特にMCA領域での脳血管スパズムに有効症例が多く，発症してから早期にHBOを行う事が重要であると思われた。